

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールバール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

2012年新年号

ほくし

迎春

年頭所感

大阪北区歯科医師会 会長 高麗 誠紀



明けましておめでとございます。

会員の皆様方にはご家族お揃いでお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震と津波が東北から関東にかけての東日本一帯に甚大な被害をもたらしました。

平成七年の阪神・淡路大震災の際、私たちは地震の脅威を身をもって体験し、復興に長い年月を要したことも記憶に新しいところです。今回の震災では東京電力福島第一原子力発電所の炉心溶融さらには水素爆発という重大な原子力災害を



伴い、複雑な課題が含まれるため、復興には阪神・淡路大震災に比べ、長期間を要するとも言われております。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

また九月初めの近畿地方でも台風十二号による大雨被害が甚大であり、被災地の一日も早い復興が望まれるところです。

そんな中、一〇月一日に企画されていた当会の法人設立三十周年の記念式典・祝宴の開催が危ぶまれましたが、先輩の先生方のご功績に対し敬意を表す意味でも、節目として記念式典は敢行すべきと結論を出し、黒川森夫実行委員長はじめ会員の先生方のご協力で成功裡に終えることが出来ました。深く感謝申し上げます。

また十一月九日には臨時総会を開催し、公益法人制

度改革に対処していくために、一般社団法人に移行申請する件ならびに、許認可後の公益目的支出計画の短期化に関連する議案をご承認頂きました。これも今まで培われてきた諸先輩方の功績と会員の先生方の財産を何としてもお守りし、身を挺してでもこの難関を乗り越える為の施策であります。

今年以降も継続して公益法人制度改革対策に取り組んでいく所存です。

厳しい医療界にとって、追い打ちをかけるように、政府与党社会保障改革検討本部が「社会保障・税一体改革成案」に「受診時定額負担制度」を明記した。

しかしこれに対し国民医療推進協議会は「日本の医療を守るための国民運動」を展開し、歯科医師会もこれに全面協力して反対署名運動を展開し、制度導入阻止を図りました。その結果、「受診時定額負担制度」導入が先送りとなりました。

これも会員の先生方の団結力の賜物であると、心から感謝申し上げます。

依然厳しい状況に置かれている歯科界ですが、今後当会の伝統である「和を以て尊しと為す」の精神をモットーに、会員相互が団結して協力し合い、大阪

府歯科医師会のご指導を仰ぎながら、正しい時代認識のもと会務運営して参りたいと存じます。

黒川前会長が歴代の会長から引き継いで来られた路線を私自身も継承し、スロガンとして、

一、執行部一丸となった会員の方々のための円滑な会務執行

一、明るく、活気ある歯科医師会の推進

一、会内融和

一、伝統の継承

一、会外との緊密な連携

以上の事柄を念頭に置き、執行部一丸となって、意欲と情熱をもって会務に携わっていく所存です。

そして、北区内での行政や医師会、薬剤師会、またデンタルファミリーである歯科技工士会、歯科衛生士会、更には関係諸団体ともこれまで以上に連携を密にして地域医療発展のため全力を尽くす覚悟であります。

どうか本年も旧に倍するご指導・ご鞭撻とお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後に、会員の先生方にとって今年が素晴らしい年になりますよう心から祈念致しまして念頭の挨拶とさせていただきます。

パノラマ

欧州では、ギリシャのデフォルト（債務不履行）懸念が周辺国にも波及し、先進国に位置づけられるイタリアで長期金利が一時的に七%を超え、財政破綻の危険水準にさらされた。

欧州債務危機の収束にめどが立たない中、安全資産と位置づけられる日本国債の評価は高く、日本の長期金利は一%前後で安定的に推移している。

しかしながら日本の政府債務残高は十一年度末には一千兆円を超すとみられ、先進国で最悪の水準だ。日本の財政運営が市場の信認を得られなければ、中長期的に長期金利が急上昇する懸念がある。

これを回避するためにも社会保障と税の一体改革が急務である。

だが聞こえてくるのは国民負担の増加ばかりで一向に社会保障に対する不安解消に繋がる様な政策が聞こえてこない。

我々国民が安心して暮らせる社会が一日も早く訪れる様、国政に於いてはその場凌ぎの政策に終始する事なく大局を見据えた本物の政治をして戴きたい。(H)

年頭所感

大阪府歯科医師会
会長 太田 謙司

謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、会員の皆様、ご家族にとりまして本年が幸せ多き年になりますことを、心からお祈り申し上げます。

昨年四月に伝統ある大阪府歯科医師会の会長職に就任し、初めての新年を迎えることになりました。この間、岡前会長の路線を継承し、会員のための歯科医師会を第一に考え、会務を執行して参りました。おかげさまで順調に会務が遂行されておりますのも、一重に会員諸氏の協力の賜物と深く感謝しております。

昨年は三月十一日に発生しました巨大地震、大津波により東北地方を中心に、未曾有の被害がもたらされ、約一〇カ月が経過した今も、福島原発の事故は未だ完全な収束をみておりません。また近畿地方への台風十二号による被害も甚大であり、

被災地の方々の生活の再建が一日も早いことを、心から願うところであります。自然の強大な力の前には、我々人間の力の限界を感じざるを得なかった昨年でありますが、これらの被害が人々の記憶に残り、また記録に留められることにより、何十年先、何百年先の、人々の命を守ることにすることが願います。

時代は不透明ですが、そのような時にこそ我々は学術団体として、新しい専門知識を学び技術を習得するために、研鑽を続ける必要があります。本年は以前にもまして、学術研修会等の体制を強化してまいりますので、会員先生方のご参加はもちろん、企画、運営等についても執行部への、ご助言、ご協力をお願いいたします。

さて我々歯科界の状況をみますと、依然として厳しいと言わざるを得ません。国民医療費に占める歯科の割合は減り続け、七・一％と低迷しております。今後とも会員各位の診療所経営が少しでも改善されるように、全力で努力してまいります。

所存です。

一方、社会保障・税一体改革に名を借りた、患者負担増が打ち出されました。受診時定額負担は高額医療費の軽減のための財源を患者に求めるという、健康保険制度の趣旨から大きく逸脱するものであります。府

歯はこの制度改悪に当初から断固反対しており、昨年一〇月には大阪府地域医療推進協議会の主催のもと「国民の医療を守る総決起集会」を開催いたしました。また十一月には強力な署名運動を展開し、全国で七七三万人を超える反対署名を集めることができ、大きな力となったことに感謝いたします。

我々にとって明るいテーマは昨年八月の「歯科口腔保健法」の成立です。生まれた時から生涯にわたり、歯科・口腔の健康を保つことは、人々が健全な生活を営む上で基本的な事項であることが、ようやく法律で認められました。各自治体・行政でその具体的な運用が動き出そうとしております。府歯からの要望により、大阪府においても来年度は調査から行いたいとの意向が示され、そのための予算措置がとられました。これらの動きが今後、実効

性のある歯科保健条例の制定に繋がるよう働きかけを強めます。

大阪府歯科医師会は、岡前会長、そして幾多の先人たちにより築かれた府民の為の歯科医師会という体制を、本年も発展させて行きたいと考えております。それは障害者歯科診療、休日緊急歯科診療、そして夜間緊急歯科診療の三本柱のさらなる充実であり、これらの安心と安全に寄与することこそ、地域の皆様と共に歩む歯科医師会の役割であると考えますので、本年も会員諸氏により一層のご協力をお願い申し上げ、年頭所感といたします。



新年のご挨拶

大阪市
北区長 上平 康晴

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、平素より市政・区政の各般にわたり、格段のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、未曾有の震災が起こり、日本中で復興に向けた努力がなされているところですが、また大阪市においては、昨年末から新しい市長の下、新たな市政がスタートしております。

このような中、大阪市の健康増進計画「すこやか大阪21」は最終評価年をむかえました。私共は、食生活や運動、健診受診などのよりよい生活習慣に取り組み、区民の自主的な健康づくりを支援するため、ライフステージに合わせた健康づくり事業を進めております。また、歯の健康につきましても、食事や会話を楽しくするなど、生活の根幹にかかわるものとして、八〇二〇

運動をはじめ歯周疾患予防や歯及び口腔の健康増進を推進しております。

大阪北区歯科医師会会員の先生方におかれましては、乳幼児健診・妊婦歯科健診や歯科健康相談など、北区の地域保健活動を積極的に推進され、区民の健康保持と疾患予防を図りながら、健康的な生活の確保に多大なご協力を頂いておりますことに、深く感謝申し上げます。更に昨年は、大阪北区歯科医師会が社団法人の設立三〇周年を迎えられ、地域歯科医療の推進と地域住民の健康などに大きく貢献されていることに、心から敬意を表する次第です。

今後、区民の皆様が安心して、生きがいをもって健康でふれあいのある暮らしやすいまちの実現に努力してまいりますので、今後とも皆様にご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

大阪北区歯科医師会のますますのご発展と皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

大阪市北区保健福祉センター
医務主幹 吉村 高尚



新年明けましておめでとうございます。大阪北区歯科医師会の先生方におかれましては、すがすがしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私は、昨年四月に前任の天津先生のあとを受けて、着任いたしました。平素はなにかと北区保健福祉センターの保健衛生行政の推進に格別のご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。今年も引き続き、変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

昨年は、東日本大震災という千年に一度ともいわれる大災害にわが国が見舞われた年でありました。犠牲になられた方々には、ただただ冥福をお祈りするばかりです。この東北地方を襲った大津波被害もさることながら、その後の東京電力福島第一原子力発電所の被災は、放射能による環境

汚染を引き起こし、将来に長引く暗い影を日本国中に落としてしまいました。診療放射線は、医師・歯科医師にとつては、レントゲン診断だけでなく、がんの治療など、いまや身近な技術となっておりませんが、放射線の健康被害にはまだまだ未解明なところが多く、人々の安心を得るにはかなりの時間がかかるだろうと思います。

この冬は、暖冬であればいいのですが、いつもと異なり原発問題から大阪の我々もまた、節電の冬を迎えることになりました。なお一層健康には十分にお気をつけていただきたいと思います。

最後になりましたが、大阪北区歯科医師会が三〇周年の節目をこえて新たなページを記されます。今年度のますますのご発展と高麗会長様をはじめ会員の先生方のご多幸、ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



辰年年男・年女

昭和 3年

15年

27年

39年

51年



七度目の年男

4班 六人部 慶夫
(昭和39年9月11日生)



明けましてお目出とうございます。昨年は北区歯科医師会法人設立三〇周年、心よりお慶び申し上げます。六度目で終了かと思っておりましたが、今尚現役一名にて頑張っております。

昨年は兎歳、飛んで！跳ねて！と大いに期待しておりましたが、三月十一日の東日本大震災による地震と津波の甚大なる被害、台風十二号とタイの洪水と次々押し寄せる天災、円高、ギリシャやイタリアの破綻と次々起こる経済不安など全く最悪の年でした。私としても、四五年間苦楽を共にした技工士がひどいリユーマチにて仕事が不可能となり休業、私も昭和二五年よ

ング頑張ります。
怒れる地球に更なる大きな天変地異がないことを願って、新年の御挨拶とさせていただきます。



4回目の年男歓迎

11班 天羽 隆
(昭和39年7月15日生)



新年おめでとうございます。私は今年四回目の年男となる。十二年に一回誰にでも訪れるものだが、健康年齢が延び、まだまだ四八歳だといわれる年であり、やりたいことを山ほど残してしまっている自分に気がつく。

人生五〇年と言われた時代であれば、悔いの残る生き方をしてしまっているのかも知れない。これからあと何回年男を迎えられるかわからないが、今からでも悔いのない日々を送り、次に年男となる時は心から歓迎できる自分でありたいと思う。

年男挨拶

7班 白井 喜宏
(昭和39年9月18日生)



新年おめでとうございます。一回目の年男を迎えた時は、まだ子供で将来の不安は考えていませんでした。二回目の時は、何となく大人になった気分がバブルの余韻を味わいました。三回目の時は、結婚という人生の節目でした。そして今回で四回目の年男を迎えます。もはや現在の希望は何も無いと思います。しかし、かと言って鶴年もありません。今年には究極の生き甲斐を見つける旅にしよう。



平成24年 新年互礼会開催

ヒルトン大阪
四階・金山の間

H24.1.14

HP



一月一四日(土)、ヒルトン大阪四階・金山の間において、平成二十四年新年互礼会が、関係官公署および団体代表、議員の来賓を招き、七六名が出席し開催された。大塚専務理事が司会を務め、野口副会長の開会のことばで始まった。高麗会長は新年の賀詞と参会へ

の謝辞を述べた。続いて上平康晴大阪府歯科医師会会長、太田謙司大阪府歯科医師会会長にご挨拶をいただいた。

西本総務理事による来賓各位の紹介の後、吉村高尚大阪府北区保健福祉センター医務主幹、波多野泉大阪府北区医師会副会長、吉田おさむ衆議院議員、久谷眞

敬大阪府議会議員に祝辞をいただき、荒起秀多北区薬剤師会会長の音頭で乾杯して懇親会に移った。

昨今の厳しい社会情勢が続く中であるが、多くの会員が来賓や会員相互と和やかに交流し楽しく時が流れていた。またたく間に夜が更け、大浦副会長の閉会のことばでお開きとなった。尚、来賓各位は次の通りであった。

(順不同敬称略)

太田謙司(府歯会長) 天羽隆(府歯常務理事) 黒川森夫(府歯連盟監事) 水沼和夫(府歯連盟常務理事) 河島保孝(府歯国保組合専務理事) 吉田おさむ(衆議院議員) 久谷眞敬(大阪府議會議員) 小玉隆子(大阪府議會議員) 美延映夫(大阪



市議會議員) 吉村洋文(大阪府議會議員) 上平康晴(大阪府北区長) 吉村高尚(大阪府北区保健福祉センター医務主幹) 木村雅之(大阪府北区消防署長 波多野泉大阪府北区医師会副会長) 尾辻淳(北区大淀歯科医師会副会長 荒起秀多(北区北薬剤師会会長 草分孝子(北区大淀薬剤師会副会長) 小谷和弘(大阪府歯科理工士会専務理事) 西康文(大阪府歯科理工士会中央北支部長) 永井るみこ(大阪府歯科衛生士会会長 木村久美(大阪府歯科衛生士会大阪北支部長)



訃報



前田 勝 先生(班外)

平成二十三年十二月二六日死去

御略歴

昭和一九年

大阪歯科医専卒

昭和二十一年

北区歯科医師会入会

昭和三十九年

北区小松原町富国生命ビル八階にて開業

大阪府知事表彰受賞

昭和三十四年八月〜三十六年三月

北区歯科医師会理事

前田勝先生を悼む

11班 大塚 禮三

突然の訃報に我が耳を疑いました。みおつくしの会には常連で、昔話に花咲かせた前田節を何時も拝聴していたのに残念でなりません。

先生は戦後の歯科医療のどん底の混乱期に大阪府歯科医師会の理事を三十一歳の若さで務められ、現在の共済制度の原点を作られました。その後医政界での活躍は、戦後の歯科界発展に多大な貢献をされました。特に歯科医療管理に精通さ

れて、当時(昭和四〇年代)としては新しい歯科医療界に計画診療予約診療を推進されました、大阪初の医療法人の導入、医療形態の改善、近代歯科医療の最先端の道を開拓し、後輩を指導し、良き手本を示され、多くの優秀な歯科医師を育てられました。

名実共に、歯科医療界の第一人者で、歯科医師の努力目標となられました。不慮の大病にも負けず不死鳥のごとく回生されていたのに、無念の限りであります。先生の私たちに残していただいた多くの教えは、永く心に残ります。明日への指針となります。惜しみても惜しみても余りある先生の御霊に心よりのご冥福を捧げます。合掌



編集後記

ほくし新年号の発行です。次号で第一〇〇号となります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(広報部一同)